

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	02_青森県
市区町村名	02387中泊町
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
02387中泊町	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	人口減少や教職員の働き方改革等により、これまで地域住民と協働で行ってきた学校行事が減少し、子どもと地域住民の交流機会が減少している。	子ども教室に廃止となった学校行事に関することや、町の特産品、伝統文化に関するメニューを取り入れる。そのために、放課後子ども教室の講師を地域の人材に依頼する。	子ども教室の講師を地域の人材から起用し、子どもと地域住民が交流する機会を設けている。	伝統・文化の継承を促進させつつ、子どもと地域住民との世代間交流の機会を増やす。	町に在住する人材を講師とした教室の実施回数	76	%	85	95	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた。 1教室に複数名の地域人材が講師として入ることで、世代間交流に厚みが生じた。また、目標値を10%上回り、地域人材の協力体制への強化へと繋がり、結果として子どもが地域住民と接する機会の増加、文化・技術の継承にも繋がった。 しかし、一部の教室では町教育委員会職員や町外講師の起用が必要となり、地域人材の活用率が下げる要因になった。改善方法として、町外講師(町教育委員会職員含む)＋地域人材の「ペア講師制」とすることで、さらに地域住民と子どもの交流機会を設けることができる。	中泊町HP

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。